

滞留水の貯蔵状況(1月22日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ① 建屋内滞留水水位及び貯蔵量
  - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
  - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ② 1~4号機タンク貯蔵量
  - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
  - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③ 5, 6号機滞留水貯蔵量
  - ・構内散水によりF・Hエリア等タンク貯蔵量は変動あり
- ④ 廃棄物発生量
  - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

① 建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,100m <sup>3</sup>	OP.2.371
2号機	約15,200m <sup>3</sup>	OP.2.503
3号機	約20,800m <sup>3</sup>	OP.2.696
4号機	約16,200m <sup>3</sup>	OP.2.729
合計	約65,300m <sup>3</sup>	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約13,670m <sup>3</sup>	OP.3.684
高温焼却炉建屋	約3,070m <sup>3</sup>	OP.1.735
合計	約16,740m <sup>3</sup>	

(合計):+40[m3/30日] (合計):+2160[m3/週]

施設	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	637m <sup>3</sup>	1,200m <sup>3</sup>
SPT(B)	880m <sup>3</sup>	3,100m <sup>3</sup>

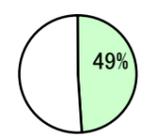
(合計):+146[m3/30日](合計):+101[m3/週]

④ 廃棄物発生量

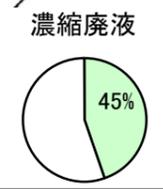


保管量:597/700[m3]※3

使用済ベッセル



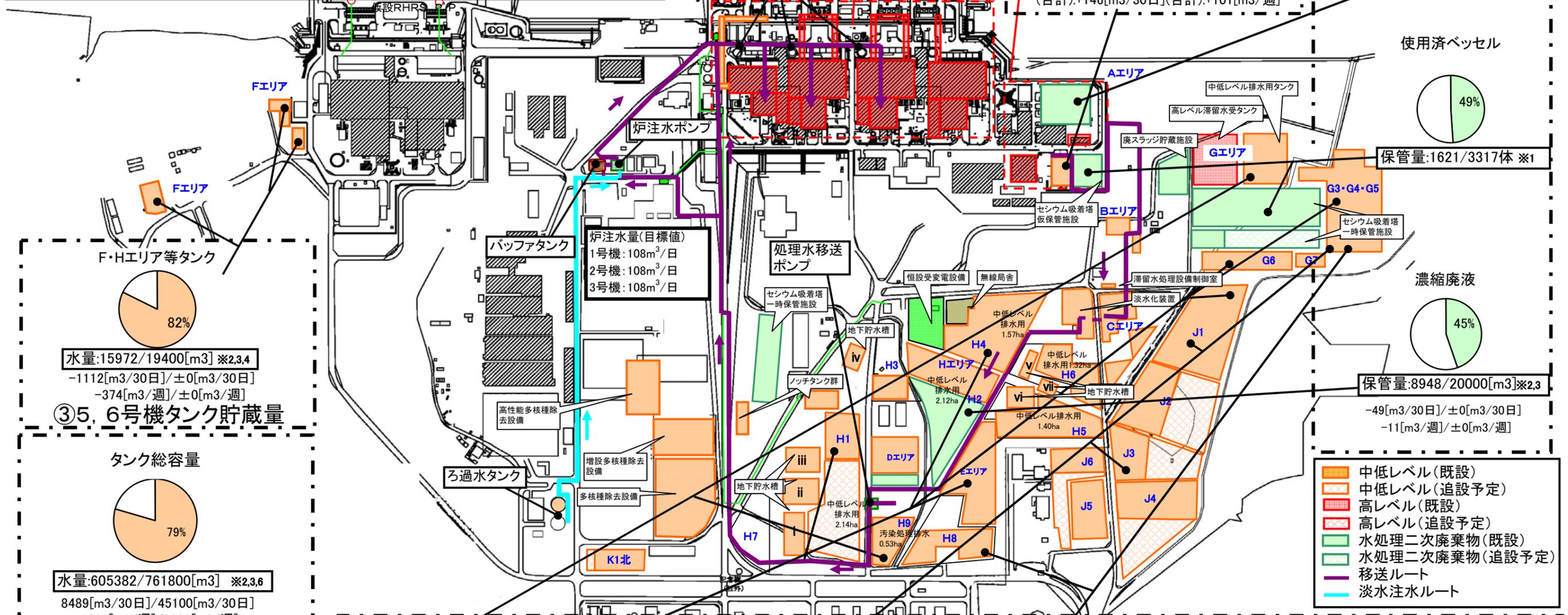
保管量:1621/3317体 ※1



保管量:8948/20000[m3]※2,3

-49[m3/30日]/±0[m3/30日]  
-11[m3/週]/±0[m3/週]

- 中低レベル(既設)
- 中低レベル(追設予定)
- 高レベル(既設)
- 高レベル(追設予定)
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 移送ルート
- 淡水注水ルート



F・Hエリア等タンク

82%

水量:15972/19400[m3] ※2,3,4  
-1112[m3/30日]/±0[m3/30日]  
-374[m3/週]/±0[m3/週]

③ 5, 6号機タンク貯蔵量

タンク総容量

79%

水量:605382/761800[m3] ※2,3,6  
8489[m3/30日]/45100[m3/30日]  
1632[m3/週]/8600[m3/週]

タンク貯蔵量合計(②+③)

②-a 淡水

89%

水量:24454/27500[m3] ※2,3  
+185[m3/30日]/±0[m3/30日]  
-146[m3/週]/±0[m3/週]

②-b 濃縮塩水

73%

水量:272459/374200[m3] ※2,3,6  
-39542[m3/30日]/-17000[m3/30日]  
-13668[m3/週]/-7500[m3/週]

②-c 処理水  
(多核種除去設備等処理済水)

87%

水量:279264/319500[m3] ※2,3,5,8  
+39977[m3/30日]/+45200[m3/30日]  
+9547[m3/週]/+8700[m3/週]

②-d Sr処理水

62%

水量:13233/21200[m3] ※2,3  
+8981[m3/30日]/+16900[m3/30日]  
+6273[m3/週]/+7400[m3/週]

1~4号機タンク総容量

79%

水量:589410/742400[m3] ※2,3,5,6  
9601[m3/30日]/45100[m3/30日]  
2006[m3/週]/8600[m3/週]

水量:約672967[m3]

12187[m3/30日]  
3367[m3/週] ※7

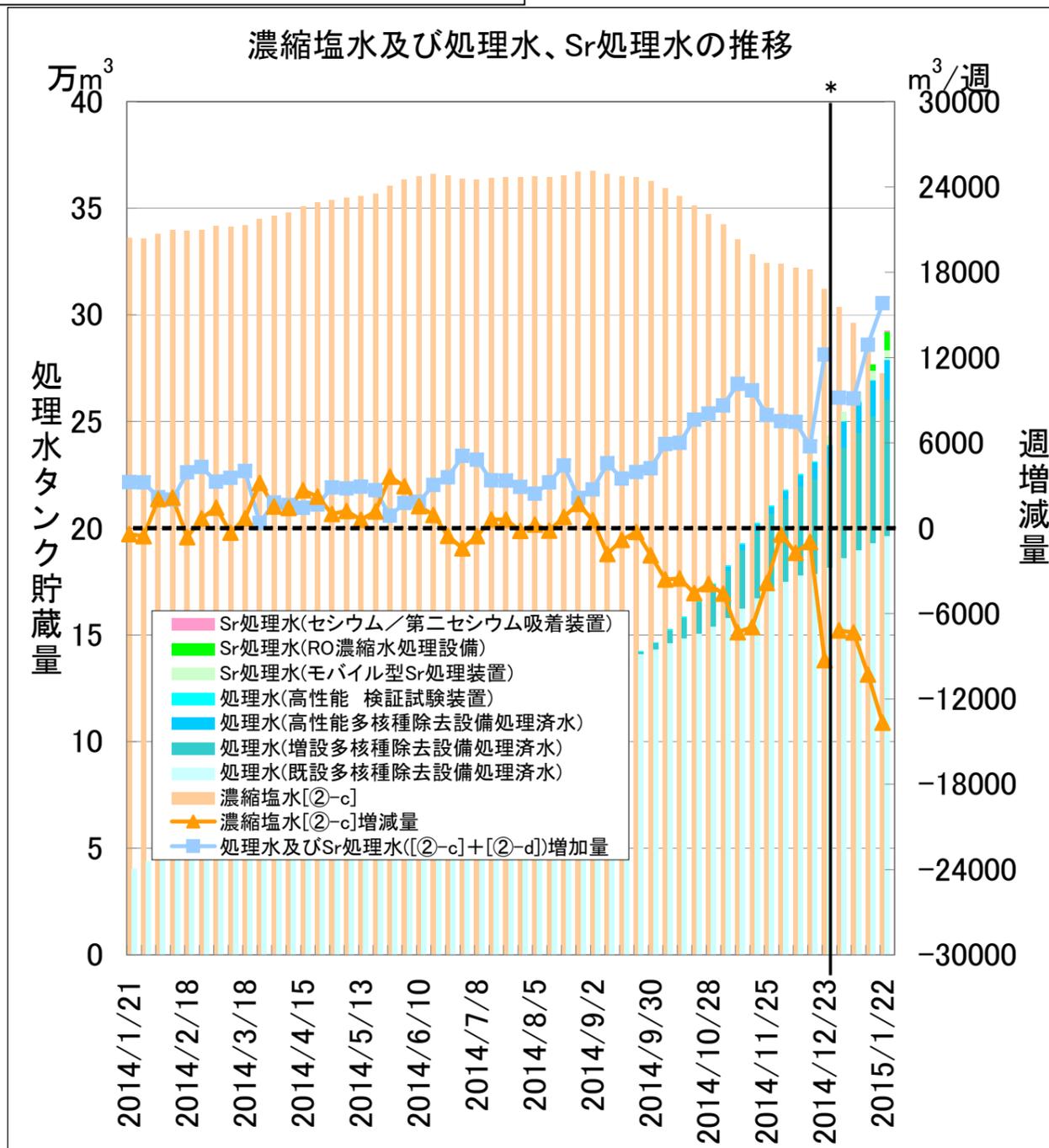
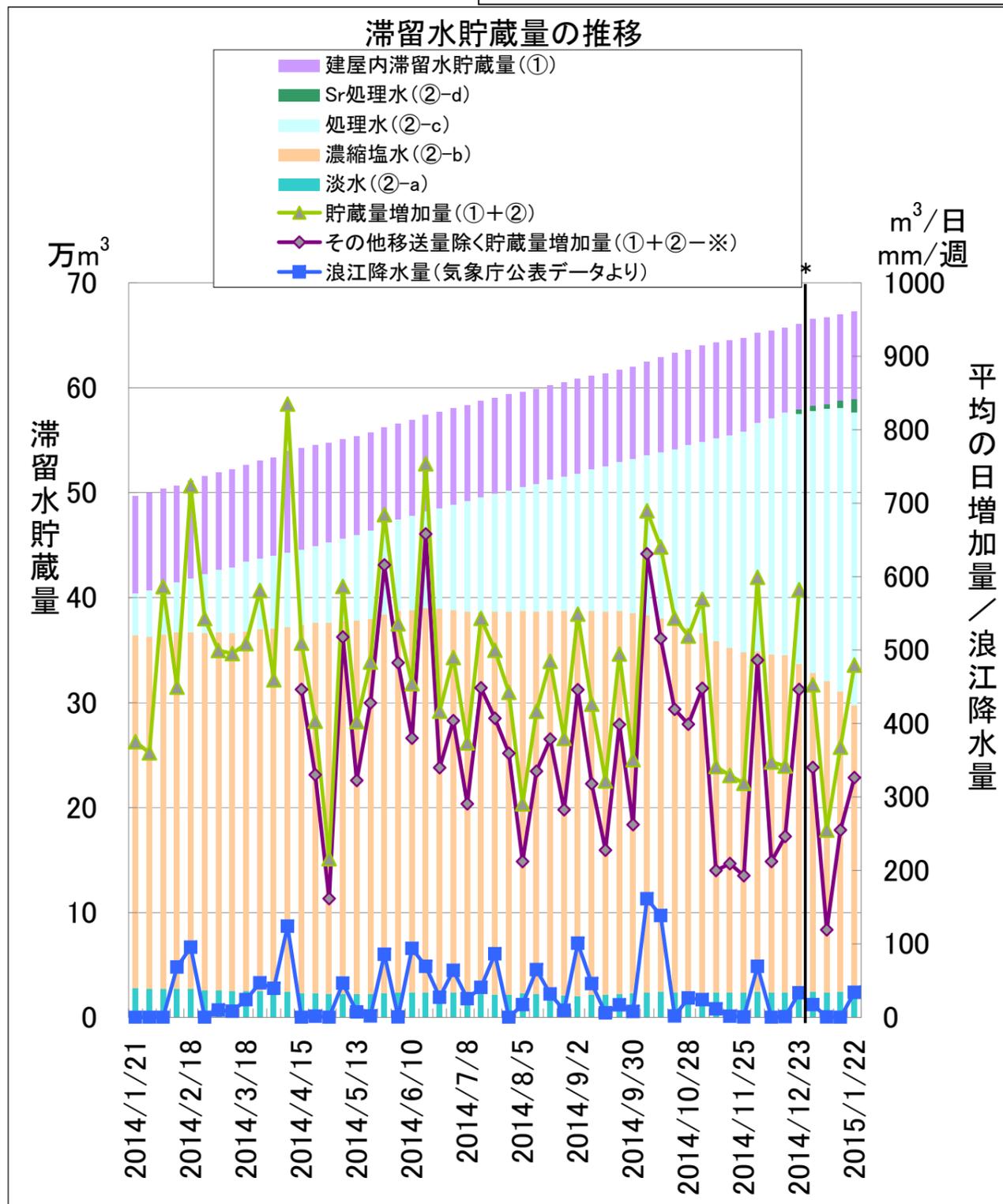
建屋内貯蔵量  
+  
1~4号機タンク貯蔵量  
(①+②)

② 1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時貯留量(\*1月27日時点の値を記載)  
・ノッチタンク群 約1500(±0[m3])/約4900[m3]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む  
 ※2 装置稼動中につき水位が静定しないため参考扱い  
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)  
 ※4 Hエリアのタンク(約3,000m<sup>3</sup>分)を5,6号機滞留水に使用  
 ※5 多核種除去設備(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵  
 ※6 地下貯水槽を含まない。ろ過水タンクの貯蔵容量(4,600m<sup>3</sup>)を含む  
 ※7 ウェルポイント(約850m<sup>3</sup>/週)、共用プールから高温焼却炉建屋(約20m<sup>3</sup>/週)の移送量約870m<sup>3</sup>/週を含む  
 ※8 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

### 滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))  
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水])  
 ※: ウェルポイント汲み上げ量、海水配管トレンチへの氷投入量、多核種除去設備薬液注入量の合計

\* 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] <sup>注1)</sup>	[m3/日]
既設多核種除去設備	196,386	3,299	471	750以上
増設多核種除去設備	63,957	4,393	628	750以上
高性能多核種除去設備	18,241	1,855	265	500以上
高性能 検証試験装置	680	0	0	50
Sr処理水	累積Sr処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] <sup>注1)</sup>	[m3/日]
RO濃縮水処理設備	8,317	5,609	801	500~900
セシウム吸着装置	664	664 <sup>注2)</sup>	221 <sup>注3)</sup>	600
第二セシウム吸着装置				1200
モバイル型Sr除去装置	Sr処理水		浄化処理中	
	[m3]		[m3]	
	4,252		4,000	

注1) 週間処理量の平均値  
 注2) 2015/1/19よりSr処理水として貯蔵を開始したため、1/19~1/22までの処理量  
 注3) 2015/1/19~1/22間の処理量のため、3日間の平均値